



SGH課題研究「グローバル課題4領域について知り、気づき、探る学習」

ーグローバル課題4領域の概要を知り、その現状や課題に気づき、解決策のヒントを見つけるー

**「国際開発」「国際ビジネス」編****開催概要**

## ◆ 学習のねらい

- ① 専門家による講義の内容から、この領域の現状や課題について理解する。
- ② 「わかったこと」「もっと知りたくなったこと」という観点から講義を振り返り、今後の各領域の調査研究への意欲につなげる。

◆ 参加者: 啓明コース及び国際コース1年生(計 132 名)

◆ 場 所: 中部大学春日丘高等学校 東校舎 2 階会議室

**「国際開発」専門家講義**

◆ 日 時: 令和元年 6 月 15 日 (土) 3、4 時限

◆ 講 師: JICA 中部 糸山 大志氏

**「国際ビジネス」専門家講義**

◆ 日 時: 令和元年 6 月 29 日 (土) 3、4 時限

◆ 講 師: 大垣共立銀行 臼井 誠司氏

**当日の流れ**

- ① 講師が講義(情報提供)を行い、生徒は講義メモを取りながら話を聞いた。
- ② 生徒は 5、6 人の班に分かれ、講義を聴いて「わかったこと」「もっと知りたくなったこと」をまとめた。
- ③ 各班の代表者が質問をし、講師に可能な範囲でお答えいただいた。

**「国際開発」専門家講義**

## 《講義の内容》

- ・JICAについて 日本のODAを一元的に扱う実施機関
- ・技術協力について “魚を与えるのではなく、魚の釣り方を伝える” 協力  
中部地域にあってはモノづくり、上下水道、電力等のテーマに特色がある
- ・官民連携 日本企業のビジネス展開を支援することで、途上国の課題解決に貢献
- ・国際協力の必要性 日本と途上国の深い相互依存
- ・日本の若者の海外志向 海外留学・海外での仕事を望む中学生は少ない  
→春日丘の生徒には、世界から何を期待されているかを考えてほしい



講義の様子



質問をする生徒

## ■ 「国際ビジネス」専門家講義

### 《講義の内容》

- ・中国、上海の概要
- ・中国における賃金の上昇について  
「中国で作り日本で売る」から「中国で作り中国で売る」へ
- ・中国は欧米の観光客を盛んに誘致
- ・一人っ子である中国の高校生には、祖父母両親からの期待が集中する
- ・中国でのモバイル決済 乗り捨てシェア自転車、タクシーアプリなど
- ・日本の常識は世界の非常識



講義の様子



メモをとる生徒



話し合いをする生徒

## ■ 生徒の感想

### 国際開発

- ・国が必要なことに合わせて、何をするか優先順位を考えなければならない。
- ・教育を受けたいが働く方が優先になっている現実...考えさせられた。
- ・自分たちはとても恵まれているんだと思った。
- ・ただ食料や資源を与えたりするだけではダメで、その国だけで持続していけるように援助しなければならない。
- ・自分たちの行いが、良くも悪くも相手国に影響を与える。
- ・日本で当たり前のことは、他国では当たり前ではない。
- ・何気なく生きているけど、必死に生きている人がいることに気づかされた。

### 国際ビジネス

- ・他の企業が行っている国際貢献も知りたくなった。
- ・国際社会の中でも格差があることを知った。
- ・支援の形についても考えなければならない。
- ・環境保護活動もビジネスを発展させるために必要だと思った。
- ・「国際貢献」と言うのは簡単だが、実際に行くと、何十年もかかり、それに耐えることができる根気と体力も必要だと分かった。
- ・人間関係が悪いと、ビジネスにも影響することが分かった。